



# ひめゆり

令和4年12月発行

PTA文化委員会

## 第2号によせて

### 子供たちの成長に感謝

師走を迎え、朝晩めつきり寒くなりました。コロナ感染状況も増加傾向にあります。日頃から健康チェック管理に気をつけながら、普段の生活に早く戻りたいものです。先生方・子供たち・保護者の皆様に「ありがとう」の感謝の言葉をおくりたいと思います。

文化祭、持久走大会、子供たちの成長している姿を見ることができ、親にとつていろいろな励みになります。子供たちが頑張っている姿を見ると、親としても感謝の気持ちがあります。

みんなのため・人のため・誰かのため。今後とも子供たちの活動のため、PTA保護者の皆さん、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。

PTA会長 児玉幸之助

### 流水に淀みなし

新型コロナウイルス感染症対策の中の令和四年度も折返しを過ぎ、保護者・地域の皆様のご支援を受け、児童生徒も確実な成長を見せてきています。体験活動も規模を調整しながらも実施し、ひめゆり文化祭では、白石さんのお話や子どもたちの「故郷」への思いに、ふるさと教育の流れを感じました。今後とも日々の営みを大切に、淀むことない取組を図って参ります。今後ともよろしくお願いたします。

校長 本田雅隆



### 学年レクリエーション

8月1日に3年生レクリエーションを開催しました！学校で親子バトミントンをしました。とても盛り上がりました。レクリエーション後、昼食会も行いましたが、感染対策を行い、皆で楽しい昼食会になりました。

甲斐美由紀(五ヶ所)

10月11日。

1・5・6年生の合同学年レクリエーションでグリーンランドに行きました。曇り空でしたが過ごしやすかったです。数組のグループに分かれて自由行動。私はあれんと成童君とで絶叫系を中心に回りました。子供が同級生と遊園地に行くのは初めてで、家族だけでは違う楽しさがあったようです。どのグループもとても楽しそうに遊んでいました。

瀬井雄三



### 阿蘇フォーラムに参加して

10月29日西原村で行われた阿蘇フォーラムに参加しました。研修1は、「IGAスクール構想は、現在進行形」子どもたちの将来につながる学びを」との題で、高森東小に勤務されていた城井順一先生の講話でした。県内小中学校には、タブレットがすべて配布され、公立高校もほぼ完備されているそうです。大学でもコロナでオンライン授業が当たり前になっていますが、高森町は早くから取り組んでいたのです。すんなり入ることができたろうなと思いました。

研修2は、2つの分科会に分かれて行われました。私は第1分科会に参加しました。親の学びのプログラムで、親子の関係の質を高めようという話です。夢や悩みなどの題で、グループに分かれて話し合いました。携帯電話をいつ持たせるか、将来の夢などが話題になりました。学年が上がるにつれ、コミュニケーションが取りづらくなりますが、しっかりと時間を取り、話すことが大事だと改めて感じた時間となりました。3年ぶりの阿蘇フォーラムで、最後に参加でき、ありがとうございました。

阿南幸代





# ひめゆり文化祭

2022 11.12

Sブロックの発表は延期になりましたが、3年ぶりに地域の皆様にもご覧いただくことができました。



連日小春日和が続いている中、ひめゆり文化祭を観覧しました。Sブロック（1〜4年生）は、都合により発表が中止となり、残念でしたが、後日披露があるそうに楽しみにしています。その中、M・Lブロック（5年生以上）の子どもたちが5つのグループに分かれて、自分たちで企画制作した発表はどのグループもすばらしく感動しました。

また、発表の合間にKABのアナウンサーとの会話のやり取りは堂々としていて、笑いもあつて楽しかったです。今回も半日の文化祭でしたが、子どもたちはなかつたかなと思います。これからも東学園らしさを活かして、頑張ってください。

野尻範仁



## 1年生の感想

からだにいいはずをはじめてしました。ぼくもたべてみたい。からだがよくなりたいたいです。

しのはつびようをみて、ぼくもおかあさんのことがはつびようができるとおもいました。まいにちはたらいしているおかあさんはがんばっているなとぼくはおもいました。ぼくもおてつたいをしてあげたいです。

1ねん かわべあらた

うたのこえがすごくきれいでした。ぼくも大きなこえをだしてうたいたいです。

1ねん せいろうじろう



Sブロックの発表です。  
12/9の授業参観で行いました。



## 校内持久走大会

本年は文化祭と同日開催でした。皆様に応援をいただき、子どもたちも元気に走りました。

学校統合前(草部北部校)の運動会では、青年団の仲間とともに、小中学校の生徒さんとマラソン大会に毎年走っていたことが、昨日のように思い出されます。今回は3kmの部でしたが、私にとっては20数年ぶりの走りで、体力の衰えを感じてしまいました。4年生の息子(喜一郎)も練習時にかかとの皮をすりむいていたので、本調子ではありませんでしたが、一生懸命走ってくれたので良かったと思っています。次回の大会までにはもっと持久力と忍耐力を養ってほしい、5kmに挑戦してほしいと願っています。

本田清徳





# 駅伝大会・修学旅行・宿泊学習

8年修学旅行、5年宿泊学習はコロナ禍で心配されましたが無事実施されました。また、中体連駅伝大会は、少人数ながら頑張りました。

## 中体連駅伝大会 10.25

最初の話し合いでは、私は走りたくない「気持ちがありました。でも話し合いを重ねるうちに、2つことを考えるようになってきました。1つ目は、学校代表として走ったほうがいいことだと思うようになってきたことです。2つ目は、先輩たちに駅伝の雰囲気を感じてもらって、駅伝にチャレンジしたいか、したくないのかを考えてほしいと思ったからです。駅伝の雰囲気を感取らないままでは、9年生になったときに駅伝の雰囲気や良いところ、悪いところがわからないからです。当日は、走る前になって、なんで、走ると言ったのだから？」と思ってしまいました。でも、オープン参加で出場して良かったと思います。なぜなら、他校の生徒、保護者や大会運営の方々が応援してくれたからです。応援されると、もう少し頑張ろう」と感じながら走っていました。最後の駅伝大会は終わってしまったけれど、義務教育学校生活はあと持久走大会があり、高校では長い距離を走ると兄から教えてもらったので、これからも膝を大切に怪我をしないようにして、後悔がないようにしていきたいです。

9年 阿南 沙紀

今年の駅伝では、最初は出るか出ないかの話し合いで人それぞれの意見があったと思うけれど、僕は、出るという意見で出させてもらいました。だから当日までの練習を頑張りました。自分がキャプテンとなり、自分の声で引張って行きました。当日では自分が1区を走りました。最初は、上位の人についていきました。そこで感じたのが、案外ついていけないぞ思い必死に食らいついて行きました。産山とは追い越したり、追い越されたりして接戦でした。グラウンドに入ってきたときに、最後の踏み張り、のこり200くらいしかないところで追い越すことができ、そのまま2区にタスキをつなぎました。

8年 児玉 佳樹

阿蘇郡市中体連駅伝大会に東学園から後期課程でチームを作り参加しました。気合いの入った顔や緊張の顔が見られ、こちらまでドキドキしました。女子はオープン参加でしたが、全員でタスキをつなぎました。男子も最後まで力強く走りきりました。一生懸命な姿はカッコいいですね！

佐藤聡美



## 8年修学旅行 9.28~30

(in 山口 福岡)

今回の修学旅行の目的でもある「企業」について学び「TOIコミュニケーション」に行きました。ここで僕は、「TOI」という会社の歴史や、相手の立場になって考えるといった会社の理念や、衛生陶器のニーズが増えてきて会社のモットーとして満足して使えるということを追求しているというところが心に残りました。

8年 吉村悠萌

8年 佐藤 力丸



## 5年宿泊学習 9.10~11

(in 水俣・芦北)

環境センターや情報センター、語り部さんのお話を聞きました。特に語り部さんのお話をしっかりと聞き、メモすることができました。やっぱり患者さんにしかわからない気持ちなどが知れてよかったです。また、自分が成長したと思うことはコミュニケーション力です。中央小の子と一緒に協力しながら、一泊二日できたと思います。以前は、初めて会う人に自分から話しかけられなかったけれど、今回は、緊張しただけで自分から話しかけることができました。

5年 矢津田愛綾



文化祭でも発表がありましたでしたが、本年度熊本朝日放送主催の標記のコンクールで4名の子どもたちが表彰を受けました。

父と母は漫才コンビ

野尻奈穂実

父と母は漫才コンビ

母がおどけて

父がツツコむ

そんなやり取りが日常茶飯事だ

時々二人は怖い顔をして

言い合いをする

でも最終的には

大声で笑い合っている

仲が良いのか悪いのか

結婚する人は

しっかり見極めんといかんよ」

母は私に言う

まるで自分ができなかったかのよう

に

でも母は選んだ

いつも笑顔にしてくれる父を

私は観客席で

二人を眺める

これから

どんな漫才が見られるのだろう

このたびは大変名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。ご指導くださいました本田校長先生をはじめ、関係各位の皆様、厚く御礼申し上げます。私たち夫婦も、今後ますます笑いに磨きをかけて、「新しい景色」を目指して頑張っていくと思います。

野尻 仁

働くお母さん

古澤 正成

お母さんの働く量販店は

家から車で三十分以上

お母さん曰く

「お客さんと関わる仕事だけん

よくトラブルがあるとよ」

仕事が終わるのは

いつも夕方頃

帰ってくるとすぐに晩ごはんの準備

次に皿洗いや洗濯

仕事帰りのせいか

いつも顔色は悪く

深いため息をつくことが多い

やはり接客はストレスがかかる仕事

それでも毎日朝から夕方まで働く

休日にはいつもベッドに横たわり

溜まった疲れを取っている

寝るのはいつも夜中の0時

家事がたまる

余計に削られる時間

それでも嫌な顔をせず

毎日仕事に行っている

僕はそんなお母さんに

何もしてあげられない

今は受験勉強で忙しいけれど

第一志望の合格するという親孝行をしたい

高校に入学して落ち着いたら

できる限りお手伝いをして

少しでもお母さんに楽をさせてあげたい

受賞者

熊本朝日放送賞

9年 野尻奈穂実さん

優秀賞

9年 古澤正成さん

優良賞

5年 後藤陽向さん

優良賞

4年 井上貴晶さん

野尻さんと古澤さんの詩については熊本朝日放送のHPから放送された番組を見ることが出来ます。



### 高森町研究発表会

10月20日10回目の研究発表会が開催され本校からはML合同授業（高森ふるさと学）を公開しました。

今回の学習では、大好きな高森町のために自分たちに何ができるのか、を考えていくものでした。地域の方々やKABの方々との協働し、実行していく中で、一人ひとりの子どもたちの成長を感じることができました。持続可能な高森町について真剣に考えることで、ふるさとへの思いを新たにできる機会となりました。また、保護者の皆様や地域の皆様にはひめゆり文化祭での発表も見ていただき、ありがとうございます。

北 慎一郎

### 編集後記

秋と言えばスポーツ🏀 芸術🎨 食欲🍔!?

今年も短縮でしたが文化祭・持久走大会が開催され、久しぶりに地域の皆様に鑑賞してもらえました。

ひめゆりの花言葉の一つに「強いから美しい」があります。制限の多い状況ですが、強く美しく輝く子供達を見てもらえたと思います。

この新聞が皆様の手元に届く頃は“師走”。学園の師は常に先頭を走っていますが、私も師と共に走ろうと思います。

次回もまた見て下さいねー。

ジャンケンポン🎲🎯🎳 うふふふつ



編集会議にて

草村由美



KABの方々からもご指導いただきました